

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ウッドライフプラスの家

グループの名称

ウッドライフプラス

直近採択グループ番号

06-0440-0466

(グループ代表者)

代表者名

太田 信之

代表者印

代表者所属先

株式会社ウッドライフ

代表者所在地

愛知県常滑市千代7-11

代表者電話番号

0569-36-1005

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社ウッドライフ

事務局担当者名

伊藤 翼

印

事務局郵便番号

479-0041

事務局所在地

愛知県常滑市千代7-11

事務局電話番号

0569-36-1005

事務局FAX

0569-36-1006

事務局担当者E-mail

ito@woodlife-eco.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	ウッドライフプラスの家
2. グループの名称(必須)	ウッドライフプラス
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0440-0466
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	愛知県下
5. 結成年(必須)	2008 年
6. グループ代表者名(必須)	太田 信之
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ウッドライフ
8. グループ代表者所在地(必須)	愛知県常滑市千代7-11
9. グループ代表者電話番号(必須)	0569-36-1005
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ウッドライフ
11. グループ事務局担当者名(必須)	伊藤 翼
12. グループ事務局郵便番号(必須)	479-0041
13. グループ事務局所在地(必須)	愛知県常滑市千代7-11
14. グループ事務局電話番号(必須)	0569-36-1005
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0569-36-1006
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	ito@woodlife-eco.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	5	海外の合法木材に関してその原木供給者を事前に特定することが困難な為、一部事業者は含まない。
II. 製材・集成材製造・合板製造	13	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	7	
IV. プレカット	4	
V. 設計	5	
VI. 施工	15	
VII. 木材を扱わない流通	2	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外
	あいち認証材	愛知県	愛知県産材認証機構認証制度	1	国内
	きふ証明材	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内
	三重の木	三重県	「三重の木」認証制度	1	国内
紀州材	和歌山県	紀州材認証システム	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		11棟				
				2200㎡					
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		7棟					
				1400㎡					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	基本ルールとして、採択された補助金額に対して物件数で等配分を行う。4棟以上、3棟未満の金額差は採択金額決定後に再考する。地域材の加算金についても同様である。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	7	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ウッドライフプラスの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県下
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ウッドライフプラス	(結成年) 2008年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0440-0466	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	知多半島は左右を海に挟まれているため、蒸し暑さと風の強さに対してより意識した家づくりを推奨する。そのため、一定水準の気密性や断熱性を有するとともに、自然の風や地域環境を活用した住宅を提案する。また独自のルールとして「安全」<環境>の選択項目を設け即した商材を採用することで、住宅の価値を高め、安全性を高め、地球環境に配慮した住宅を供給する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	近年頻発している地震や火災、また海に近いという事で津波への対策も配慮した住宅を供給する。 下記2項目より商品を選定し採用することを推奨する。 <安全対策>コーチパネル、耐力面材、制振ダンパー、その他耐震性能を向上させる商材の採用、IHコンロ、防災グッズ、蓄電池 <環境保全>太陽光発電、蓄電池、高効率給湯器、高性能断熱材、高性能サッシ、植栽・植林、LED照明、遮熱シート	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	海や山、風といった自然に近い環境で生活する住宅を推奨する。奇抜な配色や地域に馴染まないデザインは変更も視野に指摘する。日光からのエネルギー調整の為、庇や軒の採用を推奨する。植栽・植林の推奨により、日光と風を有効に活用させ快適な環境を創る。	◎
④①～③の背景	地域特徴である海・山・風といった環境下において、有効に活用し快適な生活を営むという日本古来の考え方や、高気密・高断熱の性能を融合させることで住む人の満足度を高めることができると考えている。一方で多発する天災に対しても対策を講じる必要がある。双方を満たす住宅を推奨することで、地域環境に適応し且つ住宅の価値を高める事ができると考えている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	基本仕様は木造軸組工法を推奨する。 一次消費エネルギーの削減の為、高効率給湯器やエアコンその他家電製品は高省エネ型機器の採用を推奨する。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木造軸組工法では、土台・柱は105mm角以上の木材を採用する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各施工会社、施主の意向を尊重し、建材の統一はしていない。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準パッケージを設定し、パッケージ内での採用を推奨する。 <安全対策><環境保全>の採用選定項目を設け、標準仕様の追加項目とする。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 流通ルートを確認させることで、共同購買メリットを活かした運用を行う。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 流通ルートを確認させ、合理化をはかる。また、標準パッケージを設定することで商品を多角化させず、打ち合わせや発注等総合的に合理化を目指す。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が検討委員会を兼任する。必要の際には随時開催し、決定事項は構成員へ伝え実行するものとする。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり標準パッケージを推奨する。住宅関連制度等の情報発信、様々な研修会の開催を主導し技術向上へのサポートを行うことで、構成員の知識蓄積とスキルアップを手助けする。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一定の施工仕様を設定し、事務局が主体となり構成員間の供給を行い施工基準を整備する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤調査を行う事、瑕疵保険の検査に準じた確認を行う事。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主に提出する見積もり項目を設定し、内容を明確化することを促す。見積もりに際しイメージベースやカタログ等を活用し、視覚的にもわかりやすい見積もり・積算を心掛ける。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が主体となり、イベントの開催やセミナーの開催を行う事でグループ全体の認知度と信頼性向上を狙う。また、構成員の活動(上棟や見学会等)をホームページやSNSにて発信し、信頼度を高める活動を行う。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員の諸事情があり、週休2日制の導入はできていない。しかし、週休2日制を推奨し、制度の設定を構成員へ促す。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職人の指名を行うことで、住宅全体の品質向上を行う構成員もある。また、現場での仕上げや態度等を確認し、職人への処遇等を検討して対応するよう促す。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の中で社会保険未加入の確認を行い、被保険構成員に対して会社化と社会保険への加入を促す。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員へ向けて定時以降の現場作業を極力行わない様指導する。週休2日制を促し、職人や構成員の休養を考える。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	各現場において無理のない進捗を実現すべく、工程表の作成を推奨し実践することで安全な環境を確保するよう促す。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ウッドライフプラスの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県下
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ウッドライフプラス	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0440-0466	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の整備	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅履歴情報について、事務局及び施主に対し適時報告することとする。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅履歴情報サービス機関を利用することを推奨する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員からの報告を管理するとともに、事務局が主として構成員へ連絡をとり確認を行う。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅履歴情報サービス機関の維持管理計画書を活用、点検マニュアルを作成し実行する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 点検の結果を踏まえ、必要に応じて適切な対処を行うように構成員へ指導する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が主として構成員へ連絡をとり、点検補修が実施されているか確認する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が主としてメンテナンスその他に関する勉強会を開催する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 勉強会内で体験会の内容を含め、施主向けのイベントを構成員主催で開催するよう促す。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各構成員にて相談会を含めたイベントの開催を促す。ホームページ等にて各種相談を受け付けられる体制をつくる。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が主として維持管理委員会を設置する。必要に応じて構成員へ提案等を行う。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 災害発生時等の際には、定期点検とは別に臨時点検を行うよう促す。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が主として、構成員内より代替して管理する事業者を選定、紹介する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 勉強会の内容に瑕疵に関する事案を含め、情報共有と住宅保全を担保する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		構成員は定期訪問することを促し、施主との関係強化と住宅の維持管理を率先して行う。	◎	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: メーカーや仕入れ先からの情報、協力をいただき、事務局主催で勉強会を必要時に開催する。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局主催の勉強会への積極的参加を促す。基盤となる施工基準を構成員で共有し、品質管理と向上に努める。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 交付申請時に事務局が主として確認を入れる。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が主として、構成員より情報を収集する。情報をもとに需給計画の策定を構成員とともに進めよう促す。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員同士の情報共有、指導他関係の強化を事務局が主として進め、技術強化を目指す。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局、構成員、各メーカーとして指導、提案等を積極的に行う環境を整える。	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 9
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 9	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が主として未参加者に対して積極的参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: コーチパネルでの耐震強化、木質系断熱材等の新建材を積極的に提案し、より安全で快適な住宅を建設できる様にすすめてゆく。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 高气密の輸入サッシを提案すべく、構成員とともに技術協力を考慮する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		構成員に対し、事務局が当事業における住宅仕様の施主向け説明資料や申請のサポート等を事務局が主として行う。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ウッドライフプラスの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県下																								
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ウッドライフプラス	(結成年) 2008年																								
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0440-0466																									
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																										
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	木造軸組工法の主要構造部分(柱・土台・梁・桁)の内、柱・土台に関しては愛知・岐阜・三重・和歌山のいずれかの県認証材を80%以上使用する。 梁・桁に関しては上記県認証材または合法木材を80%以上使用する。束、母屋、大引きはその限りではない。	◎																							
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	◎																							
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない		<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	原木供給業者→製材・集成材・合板製造業者→流通業者→プレカット業者→施工業者																								
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が主となり構成員の在庫状況を把握し、施工業者へ情報提供するとともにグループ間で情報共有する。	◎																							
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が主となり構成員の在庫状況を把握し、施工業者へ情報提供するとともにグループ間で情報共有する。共同購入の要領で価格交渉し安定した価格を共有する。	◎																							
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員との情報共有を必要時に都度行い、受注状況や地域材の必要数量等の情報を構成員同士で共有できる環境をつくる。	◎																							
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 畳の活用を推奨する。	○																							
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員により多様なデザインの中で用途に応じて和瓦を推奨する。地域材である三州瓦を推奨している。	○																							
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員の仕様が多様なため、特別な推奨は行っていない。	○																							
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員の仕様が多様なため、特別な推奨は行っていない。	○																							
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の伝統品である常滑焼タイルや常滑焼の洗面ボール等を推奨し採用へ提案する。	◎																							
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員の仕様が多様なため、特別な推奨は行っていない。	○																							
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員の仕様が多様であるが、常滑焼や三州瓦など知多半島近郊の商材を採用するように推奨している。	○																							
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: イベントやSNS等を利用し情報発信に努める。地域環境の勉強会等、事務局が主として行うよう努める。	◎																							
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の景観を著しく損なうようなデザインや外観は控えるように提言する。	◎																							
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室の設置や和瓦の推奨など和の住宅要素を含めた住宅を推奨する。	○																							
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	伝統技術の伝承という観点から、木造軸組工法において手刻みによる構造材の採用も可とする。	○																							
カ. その他																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
	東日本大震災の復興に資する取組	構造用合板において、メーカー合板を使用する場合に、東北生産品を推奨し使用を促す。	◎																							
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本県産の杉材他被災地区で製造されている製品を使用するよう推奨し使用を促す。	○																							

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> ウッドライフプラスの家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 愛知県下
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> ウッドライフプラス	<small>(結成年)</small> 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0440-0466	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<div style="border: 1px solid black; height: 750px; width: 100%;"></div>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。